

園長	担当

## 地域小規模児童養護施設 『(仮称) 外山ホーム∞』 構想案

2025.5.2 外山・岡本作成

### 地域で育ち、地域の活性化を自分たちでしていく

地域や社会との連携を深め、子ども達にとって「ふるさと」と思える場にしていけるように努めます。

子ども達がのびのびと健やかに育つことのできる環境があることで、街に笑顔が増え、その地域を故郷のように思うことで地域のつながりを大切にすることにつながっていきます。

地域の方々に守られて育った子どもたちは、その思いを地域に還元し、地域に明るさをもたらしていきます。

地域が明るくなることで、子ども達だけでなく、地域のお年寄りや障害のある方など、誰もが明るい気持ちになり、活性化していきます。

そうすることで、児童福祉の拡充が、すべての福祉の支援につながっていくと考えられ、循環していきます。

### 地域小規模児童養護施設の在り方

養育のモデルとなるように支援に努めていきます。

理想の家族の在り方を子どもたちが見つけられる場になるように努めていきます。

単なる「同居人」「他人」ではなく、共に住まうものとして、職員、児童同士が互いを認識し、自他を理解していくことで、人と暮らすことを覚え、その先の自立に向けての準備につながっていきます。

ルールで縛るのではなく、ある程度の土台となるハウスルール以外は、子ども達とともに環境を整えていくようにします。

子どもの最善の利益や発達状況をかんがみて、必要がある場合は18歳を超えても対応していくことを要検討します。

- **対象年齢：中高生を主に考えます。**

誠心会の切れ目のない支援を考えた時に、ベビーホームで育ち、子どもの家で小学生時代を過ごした後、一步自立に向けて池田町での小規模児童養護施設での生活をしていく中でしらかば館（自立援助ホーム）との連携を図りながら、最終的にはしらかば館（自立援助ホーム）に移行していきける流れを考えます。

しらかばこども園のある池田町1丁目は、新大津駅を最寄りとし、交通の便も良く、進学幅が広がり、行動範囲も広げるにも適した場であると考えます。また、近くにはしらかばこども園や学童クラブがあることで、ボランティアやアルバイトもできるため、社会勉強の場も多くあり、また交流の場にもなるため、支援を受けるだけでなく、自らも支援をする立場としての相互作用が生まれ、役割を感じることで生きる希望につながっていくことも考えられます。

そういった環境の中で、ストレスの解消方法や、趣味を開拓していくことで、自分を知り、磨いていくことができる場にもなると良いと考えます。

#### ● 利用人数：6名（1階女子3名 2階男子3名）

男女混合へのタブー視をせず、それよりも、向き合うことで、これからの付き合い方、在り方を学びながら過ごしていくことが、これからの社会に出て自立していくためには大切なことであると考えます。1階には女子部屋、団らんの場、宿直室を設け、2階には男子部屋、応接室、臨時宿泊室を設け、階段には簡易な施錠をすることで、事故を防ぎ、また避難が必要な場合には簡単に取り外しができるようにすることで、安全性も保てるようにします。2階にも集まれる場を設けて、男子が集まれる憩いの場と、女子が集まれる憩いの場（1階）を分けて使えたり、全員での団らんの時間は基本的には1階を使ったりと居場所の工夫を行っていきます。

#### ● 職員体制

職員は住み込み型の小舎性の方法をとることで、子どもたちの1日だけではなく、普段からの様子を観察し、変化により早く気付ける体制を作っていけるとともに、子どもたちにとって、家族のような感覚で過ごせる家庭的養育が実現できると考えます。

池田町のしらかばビレッジで小規模児童養護施設を運営することで、子ども同士のつながりだけではなく、職員の協力、連携を行っていくことができます。

日中はステーションやこども園、学童クラブと兼務をすることで、効率的に仕事を行うことができ、さらには、人件費の削減や、緊急時の対応に手厚く対応にあたれることにつながると考えます。

#### 子ども達に関わるうえで大切にしたいこと

- 子ども達が子ども時代に子どもらしくいられることを大切にします。
- 想像力（イマジネーション）と創造力（クリエイティブ）を伸ばし、挑戦したいと思う心を育むこと、そして成功をともに喜び合い、失敗や挫折は共に乗り越えていく。これらを基盤として子どもたち一人ひとりの発達に合わせた支援を行っていきます。
- ここで暮らす子ども達の最善の利益を大切にし、よりよく生きること(well-being)を保障していきます。
- 子ども達の発信するオーダーの中に隠れているニーズに気づき、その子が必要とする関わりを模索していけるよう子どもたちに寄り添い向き合っていきます。

## 自律の尊重

子ども達が自分の考えや価値観に基づいて、他の意見に左右されずに判断して行動できるようになっていくことの援助をしていきます。

そのために、子どもたちの成長度合いに合った対応（価値観を固めていく、視野を広げるなど）をしていくことが必要となります。

「これが良い」「こうでなければいけない」ではなく、「こういう結果も起こりうる可能性がある」「こんなやり方もあるよ」と、子ども達を見守りながら雑談の中で適切な声掛けをしていくことで自立を促していきます。

## ライフスキルの獲得

子どもたちそれぞれのライフスキルがどのくらいの段階であるかを把握し、それぞれのペースに合った形でかかわっていくことでライフスキルの発達を促していけるようにします。

## 『(仮称) 外山ホーム∞』由来

∞…可能性と夢は無限大であるという意味を込めています。未来に生きる子どもたちがたくさんの夢と希望と可能性に満ち溢れていることを願います。